

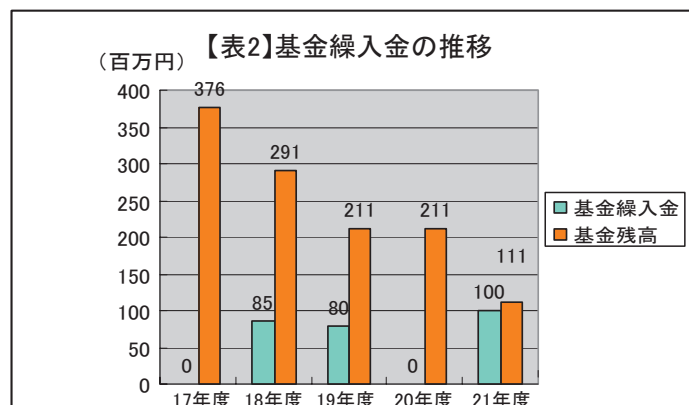
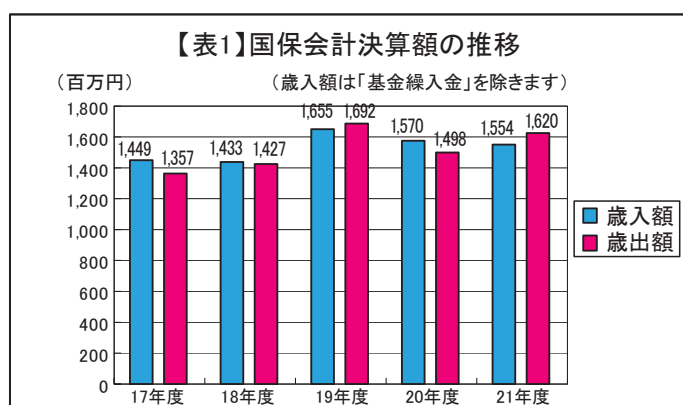
国民健康保険の財政安定化に向けてのお知らせ

■ 国民健康保険の状況

現在、国保（国民健康保険）の運営は近年の医療の高度化、被保険者の高齢化などにより医療費が増加したこと、景気の低迷等の要因によって保険税収入の伸びが低く推移したことが国保財政状況の悪化の要因となっています。

【危機的な国保会計】

- ① 国保会計は歳出（保険給付費などの支払い）に歳入（税収など）が追いつかず、実質赤字財政になっています。（表 1）
- ② 近年の保険給付費の増加による財源不足を、国保財政調整の基金を取り崩して補っています。（表 2）
- ③ 基金も残り少なくなり、現状のままでは国保の運営を維持していくことが困難な状況となっています。



【急増する医療費を抑制するためには】

安心して病院などの受診ができるように、今後の国保財政を安定的に運営するためにも、医療機関・薬局を受診する際には、以下のことに留意しましょう。

- 救急医療機関を休日や夜間に受診しようとする際には、平日の時間内に受診することができないかもう一度考えてみましょう。
- かかりつけの医師を持ち、気になることがあったらまずは、かかりつけの医師に相談しましょう。
- 薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。
- 同じ病気で複数の医療機関を受診することは控えましょう。
- ジェネリック医薬品（後発医薬品）を積極的に利用しましょう。